

令和 7 年度補正 錦川鉄道生活交通改善事業計画（鉄道軌道安全輸送設備等整備事業）

1 事業の目的・必要性

錦川清流線は、過疎化・高齢化の進む沿線地域において通勤・通学・通院等の住民生活を支える重要な交通手段となっているが、旧国鉄岩日線川西～河山間の開業以来 60 年以上が経過し施設全体の老朽化が進んでいる。

ケーブル交換、レールの交換【同種更新】、マクラギの交換【PCマクラギ化・同種更新】、道床補充【MTTによる総つき固め】を行うことにより、近年頻発する異常気象による自然災害に対する災害対応能力を強化し防災・減災に努めるとともに、輸送の安全を保つ必要がある。

2 事業の定量的な目標及び効果

錦川清流線は、開業以来赤字経営を余儀なくされており（令和 6 年度経常損失 140,993 千円）、損失補てん等のために積み立てた基金の減少も著しい（開業当初 660,000 千円から令和 6 年度末 10,100 千円に減少）。

こうした中、鉄道施設総合安全対策事業費補助（鉄道軌道安全輸送設備等整備事業）等を活用し、老朽化した鉄道施設の更新を行うことにより災害対応能力を強化し防災・減災に努めることで、12 万 8 千人（令和 6 年度年間利用者）の輸送の安全を向上させる。

3 事業の内容と当該事業を実施する事業者

別紙 1 に記載

4 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

令和 7 年度補正事業費（国補正予算追加要望）	68,590 千円
負担額 国	: 22,863 千円（負担割合 33.33%）
山口県	: 5,050 千円（負担割合 7.36%）
岩国市	: 40,677 千円（負担割合 59.31%）
錦川鉄道	: 0 円（負担割合 0%）

5 計画期間

別紙 1 に記載

6 協議会の開催状況と主な議論

令和 7 年 2 月 18 日（第 4 回） 事業内容、費用負担について議論
費用負担を含む計画全体について合意

令和 8 年 2 月 20 日（第 5 回） 事業内容、費用負担について議論
費用負担を含む計画全体について合意

(協議会の構成)

「岩国市地域公共交通活性化再生法協議会委員名簿」のとおり

岩国市地域公共交通活性化再生法協議会
令和 8 年 2 月 20 日

設備・保存費の区分	整備の概要	令和7年度 (2025年度)				令和8年度 (2026年度)		令和9年度 (2027年度)		令和10年度 (2028年度)		令和11年度 (2029年度)		令和12年度 (2030年度)		備考
		令和7年度当初		令和7年度補正		事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	
		事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所											
信号、通信線	ケーブル更新	27,200	行波～北河内間 12K378m～13K850m L=1,480Km	30,300	北河内～椋野間 13K730m～15K380m L=1,650Km			27,200	柳瀬～錦町間 31K700m～32K800m L=1,300Km	22,800	河山～錦町間 30K800m～31K700m L=1,000Km	27,700	守内かさ神～南河内間 7K340m～8K590m L=1,280Km	30,300	森ヶ原～清流新岩間 3K710m～5K218m L=1,510Km	
橋りょう	橋梁コンクリート補強	3,100	清流新岩国～守内かさ神 1箇所					3,100	南河内～行波 1箇所			2,600	森ヶ原～錦町 1箇所			
電子閉塞装置	制御盤改修									7,500	北河内構内 制御盤1台					
小計		30,300		30,300				30,300		30,300		30,300		30,300		
マクラギ	並マクラギをPCマクラギに更新	7,600	河山～柳瀬 28k662m～28k747m 86本	7,600	河山～柳瀬 28k115m～28k785m 70本			7,980	根笠～河山 23k700m～26k800m 83本	8,400	根笠～河山 23k700m～26k800m 85本	8,800	根笠～河山 23k700m～26k800m 87本	9,200	根笠～河山 23k700m～26k800m 90本	
橋りょう	橋側歩道新設	9,300	椋野～南桑 20k513m～20k533m L=19.6m													
マクラギ	木製マクラギの更新 【同種更新】	9,600	根笠～河内間 橋マクラギ46本 北河内構内 並マクラギ10本	16,200	根笠～河内間 橋マクラギ29本 根笠～柳瀬間 並マクラギ170本			15,700	根笠～柳瀬間 180本	14,700	森ヶ原～錦町間 230本	11,900	森ヶ原～錦町間 180本	11,000	森ヶ原～錦町間 150本	
レール	レールの更新 【同種更新】	1,200	清流新岩国～守内かさ神間 4k337m～4k370m L=33m	1,200	清流新岩国～守内かさ神間 4k337m～4k370m L=33m			2,500	森ヶ原～錦町間 50m	2,600	森ヶ原～錦町間 50m	2,700	森ヶ原～錦町間 50m	2,800	森ヶ原～錦町間 50m	
軌道道床	MTTによる総つき固め	13,290	南河内～南桑間 9K500m～20K680m L=2,800M	13,290	椋野～根笠間 19K500m～22K776m L=2,700M			14,000	森ヶ原～錦町間 2,750m	14,000	森ヶ原～錦町間 2,700m	15,800	森ヶ原～錦町間 2,820m	16,500	森ヶ原～錦町間 2,850m	
車両	重要部検査					19,000	3001号 1両	19,950	3002号 1両	19,950	3003号 1両	20,900	3004号 1両			
車両	全般検査	27,000	3004号 1両											27,500	3001号 1両	
車両	車輪交換	9,000	3002号、3003号 2両													
小計		76,990		38,290		19,000		60,130		59,650		60,100		67,000		
合計		107,290		68,590		19,000		90,430		89,950		90,400		97,300		

注) 1. 「設備・保存費の区分」欄は、「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業に関する運用方針」別表の工事内容の区分又は鉄道事業会計規則に基づき記載すること。

2. 計画期間内において実施する設備整備がない場合は、「事業費欄」に「0」を記載すること。

3. 必要に応じて、対象設備の図面、写真等を添付すること。

設備・保存費の区分	整備の概要	令和7年度補正分						
		全体		国	県	市	基金	事業者
		事業費	整備対象箇所					
信号、通信線	ケーブル更新	30,300	北河内～棕野間 13K730m～15K380m L=1,650Km	10,100	5,050	15,150	0	0
小計		30,300		10,100	5,050	15,150	0	0
マクラギ	並マクラギをPCマクラギに更新	7,600	河山～柳瀬 28k115m～28k785m 70本	2,533	0	5,067	0	0
マクラギ	木製マクラギの更新 【同種更新】	16,200	根笠～河山間 橋マクラギ29本 根笠～柳瀬 並マクラギ170本	5,400	0	10,800	0	0
レール	レールの更新 【同種更新】	1,200	清流新岩国～守内かさ神間 4K337m～4K370m L=33m	400	0	800	0	0
軌道道床	MTTによる総つき固め	13,290	棕野～根笠間 19K500m～22K776m L=2,700M	4,430	0	8,860	0	0
車両	重要部検査				0	0	0	0
小計		38,290		12,763	0	25,527	0	0
合計		68,590		22,863	5,050	40,677	0	0
負担率(%)		100%		33.33%	7.36%	59.30%	0.00%	0.00%